地域の取材拠点
ニュース・問い合わせは
各支社・支局まで

●尾張支社
一宮市栄2―14―29
アスティー一宮北館102号
0586(72)5003
FAX 0586(72)6823

●瀬戸支局
瀬戸市共栄通1―6ツカモトビル305号
0561(21)5936

●小牧支局
小牧市新町3―160
スペース小牧108号
0568(77)1828

●知多支社
半田市泉町1―4新美ビル4階
0569(24)6320
FAX 0569(24)6367

尾張・知多

Area News

年頭インタビュー　今年の展望

高くても良いもの売る

愛知県陶磁器工業協同組合
加藤 庄平 理事長
（かとう・しょうへい）

「瀬戸産地のイメージ向上が必要」と語る加藤理事長

昨年の瀬戸地域は東日本大震災の影響から、陶磁器産業が土産物を中心に需要が落ち込み、厳しさに満ちた年だった。半面、地域ブランドの創設を目指す動きが本格化し、未来への胎動も感じられた。加藤庄平愛知県陶磁器工業協同組合理事長に、業界の現状と今年の取り組みなどを聞いた。（瀬戸）

―陶磁器業界の現状についてい。

「ここ何年も不況が続いている。わが国のデフレの正体は、生産年齢人口の減少による需要の減退にある。東アジア不況慣れはしているが、現状でも少子化が進み始めている。そんな中、ものづくりを続けるには、高くても良いものを売るという発想が必要。そのためにも瀬戸の陶磁器業界のブランド化を進めなければならない」

―地域団体商標登録の申請作業が大詰めに来ている。

「瀬戸焼という名称で地域団体商標の登録を申請することで業界が一致している。現在、最終的な確認作業をしており、まもなく申請の運びとなる。これにより焼き物のふるさと・瀬戸の知名度やイメージの向上が図れる。いいもの。それに甘えすぎていた感はあるが、瀬戸産地の良さを多くの人に知ってもらいたい」

世界遺産登録もブランド化推進

―瀬戸焼を含めた瀬戸のブランド化も望まれている。

「私は個人的には瀬戸産地が世界遺産登録を目指したいと思っている。ハードルは高いが、石見銀山が産業遺産ということで世界遺産になり、陶磁器産地の有田でも世界遺産登録に向けて準備が進められているという。良い好な原料土が採れる瀬戸産地の恵まれた立地は頼がないもなる」

―地域団体商標登録の申請作業が大詰めに来ている。

「瀬戸焼という名称で地域団体商標の登録を申請することで業界が一致している。現在、最終的な確認作業をしている。

―ジの向上が図れる。いいもの。それに甘えすぎていた感はあるが、瀬戸産地の良さを多くの人に知ってもらいたい。

―瀬戸焼を含めた瀬戸のブランド化も望まれている。

「私は個人的には瀬戸産地が世界遺産登録を目指したいと思っている。ハードルは高いが、石見銀山が産業遺産ということで世界遺産になり、陶磁器産地の有田でも世界遺産登録に向けて準備が進められているという。良い好な原料土が採れる瀬戸産地の恵まれた立地は頼がないもなる」